株 式 取 扱 規 程

(2022 年 9 月 1 日改訂)

高砂香料工業株式会社

第1章 総則

第1条 (目的)

当会社における株主権行使の手続きその他株式に関する取扱いについては、株式会社証券保管振替機構（以下「機構」という。）および株主が振替口座を開設している証券会社等の口座管理機関（以下「証券会社等」という。）が定めるところによるほか、定款第13条に基づきこの規程の定めるところによる。

第2条 (株主名簿管理人)

当会社の株主名簿管理人および同事務取扱場所は次のとおりとする。

株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目四番五号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目四番五号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

第2章 株主名簿への記録等

第3条 (株主名簿への記録)

1. 株主名簿記載事項の変更は、総株主通知等機構からの通知（社債、株式等の振替に関する法律（以下「振替法」という。）第154条第3項に規定された通知（以下「個別株主通知」という。）を除く。）により行うものとする。
2. 前項のほか、新株式発行その他法令に定める場合は、機構からの通知によらず株主名簿記載事項の変更を行うものとする。
3. 株主名簿は、機構が指定する文字・記号により記録するものとする。

第4条 (株主名簿記載事項に係る届出)

株主は、その氏名または名称および住所を機構の定めるところにより、証券会社等および機構を通じて届け出るものとする。変更があった場合も同様とする。

第5条 (法人株主の代表者)

法人である株主は、その代表者1名を機構の定めるところにより、証券会社等および機構を通じて届け出るものとする。変更があった場合も同様とする。

第6条 (共有株主の代表者)

株式を共有する株主は、その代表者1名を定め、共有代表者の氏名または名称および住所を機構の定めるところにより、証券会社等および機構を通じて届け出るものとする。変更があった場合も同様とする。

第7条 (法定代理人)

株主の親権者および後見人等の法定代理人は、その氏名または名称および住所を機

構の定めるところにより、証券会社等および機構を通じて届け出るものとする。変更および解除があった場合も同様とする。

第8条（外国居住株主等の通知を受けるべき場所の届出）

外国に居住する株主および登録株式質権者またはそれらの法定代理人は、日本国内に常任代理人を選任するか、または日本国内において通知を受けるべき場所を定め、常任代理人の氏名もしくは名称および住所または通知を受けるべき場所を、機構の定めるところにより、証券会社等および機構を通じて届け出るものとする。変更および解除があった場合も同様とする。

第9条（機構経由の確認方法）

当会社に対する株主からの届出が証券会社等および機構を通じて提出された場合は、株主本人からの届出とみなす。

第10条（新株予約権）

1. 新株予約権原簿への記載または記録、新株予約権に係る質権の登録、移転または抹消、信託財産の表示または抹消の請求は、株主名簿管理人に対して行うものとする。
2. 前項に定めるほか、新株予約権の取扱いについては別途定めることができる。
3. 当会社の新株予約権原簿に記載または記録される者の届出事項については第4条から前条までの規定を準用する。届出先は前項による別途の定めがない限り、株主名簿管理人とする。

第3章 株主確認

第11条（株主確認）

1. この規程による請求または届出は、当会社の定める書式によるものとする。当会社の定める書式がないときは、署名または記名押印した書面により行うものとする。
2. 株主（個別株主通知を行った株主を含む。）が請求その他株主権行使（以下「請求等」という。）をする場合、当該請求等を本人が行ったことを証するもの（以下「証明資料等」という。）を添付し、または提供するものとする。ただし、当会社において本人からの請求等であることが確認できる場合はこの限りでない。
3. 当会社に対する株主からの請求等が、証券会社等および機構を通じてなされた場合は、株主本人からの請求等とみなし、証明資料等は要しない。
4. 代理人により請求等をする場合は、前二項の手続きのほか、株主が署名または記名押印した委任状を添付するものとする。委任状には、受任者の氏名または名称および住所の記載を要するものとする。
5. 代理人についても第1項ないし第3項を準用する。

第4章 株主権行使の手続き

第12条 （書面交付請求および異議申述）

会社法第 325 条の 5 第 1 項に規定された株主総会参考書類等の電子提供措置事項を記載した書面の交付の請求（以下「書面交付請求」という。）および同条第 5 項に規定された異議の申述をするときは、書面により行うものとする。ただし、書面交付請求を証券会社等および機構を通じてする場合は、証券会社等および機構が定めるところによるものとする。

第13条 （少数株主権等）

振替法第 147 条第 4 項に規定された少数株主権等を当会社に対して直接行使するときは、署名または記名押印した書面により、証券会社等が交付した個別株主通知（振替法第 154 条第 3 項に定める通知をいう。）に係る受付票を添付して行うものとする。

第14条 （単元未満株式の買取請求の方法）

単元未満株式の買取請求をするときは、機構の定めるところにより、証券会社等および機構を通じて行うものとする。

第15条 （買取価格の決定）

1. 前条の買取請求の買取単価は、買取請求が株主名簿管理人事務取扱場所に到達した日の東京証券取引所の開設する市場における最終価格とする。ただし、その日に売買取引がないときまたはその日が同取引所の休業日に当たるときは、その後最初になされた売買取引の成立価格とする。
2. 前項による買取単価に買取請求株式数を乗じた額をもって買取価格とする。

第16条 （買取代金の支払）

1. 当会社は、前条により算出された買取価格から第 26 条に定める手数料を控除した金額を買取代金とし、当会社が別途定めた場合を除き、機構の定めるところにより買取単価が決定した日の翌日から起算して 4 営業日目に支払うものとする。ただし、買取価格が剰余金の配当または株式の分割等の権利付価格であるときは、基準日までに買取代金を支払うものとする。
2. 買取請求者は、その指定する銀行預金口座への振込またはゆうちょ銀行現金払による買取代金の支払を請求することができる。

第17条 （買取株式の移転）

買取請求を受けた単元未満株式は、前条による買取代金の支払または支払手続を完了した日に当会社の振替口座に振替えるものとする。

第18条 （単元未満株式の買増請求の方法）

単元未満株式を有する株主が、その有する単元未満株式の数と併せて単元株式数となる数の株式を売り渡すことを請求（以下「買増請求」という。）するときは、機構の定めるところにより、証券会社等および機構を通じて行うものとする。

第19条 （自己株式の残高を超える買増請求）

同一日になされたもので先後不明な買増請求の合計株式数が、当会社の保有する譲渡すべき自己株式数を超過しているときは、その日におけるすべての買増請求は、その効力を生じないものとする。

第20条 （買増請求の効力発生日）

買増請求の効力は、買増請求が株主名簿管理人事務取扱場所に到達した日に生じるものとする。

第21条 （買増価格の決定）

1. 買増単価は、買増請求の効力発生日の東京証券取引所の開設する市場における最終価格とする。ただし、その日に売買取引がないときまたはその日が同取引所の休業日に当たるときは、その後最初になされた売買取引の成立価格とする。
2. 前項による買増単価に買増請求株式数を乗じた額をもって買増価格とする。

第22条 （買増株式の移転）

買増請求を受けた株式数に相当する自己株式は、機構の定めるところにより、買増請求をした株主が証券会社等を通じて、買増代金として買増価格に第 26 条に定める手数料を加算した金額が当会社所定の銀行預金口座に振り込まれたことを確認した日に、買増請求をした株主の振替口座への振替を申請するものとする。

第23条 （買増請求の受付停止期間）

1. 当会社は、毎年次に掲げる日から起算して 10 営業日前から当該日までの間、買増請求の受付を停止する。
 - (1) 3月31日
 - (2) 6月30日
 - (3) 9月30日
 - (4) 12月31日
 - (5) その他機構が定める株主確定日等
2. 前項にかかわらず、当会社が必要と認めるときは、別に買増請求の受付停止期間を設けることができるものとする。

第24条 （株主提案権の株主総会参考書類）

株主総会の議案が株主の提出によるものである場合、会社法施行規則第 93 条第 1 項により当会社が定める分量は以下の通りとする。

- (1) 提案の理由
議案ごとに 400 字
- (2) 提案する議案が取締役、監査役および会計監査人選任議案の場合における株主総会参考書類に記載すべき事項
候補者ごとに 400 字

第5章 特別口座の特例

第25条 (特別口座の特例)

特別口座の開設を受けた株主の本人確認その他特別口座に係る取扱いについては、機構の定めるところによるほか、特別口座の口座管理機関が定めるところによるものとする。

第6章 手数料

第26条 (手数料)

1. 当会社の株式の取扱いに関する手数料は無料とする。(ただし、第14条(単元未満株式の買取請求の方法)に基づく株式買取りの請求および第18条(単元未満株式の買増請求の方法)に基づく株式買増しの請求については、株式の売買の委託に係る手数料相当額として別途定める金額を徴収することができるものとする。)
2. 株主等が証券会社等または機構に対して支払う手数料は、株主等の負担とする。

第7章 総株主通知等の請求

第27条 (総株主通知の請求)

当会社は、以下の各号に定める場合には、振替法第151条に定める正当な理由があるときとして総株主通知を機構に請求することができる。

- (1) 当会社が、法令、上場規則、定款その他の規則(以下「法令等」という)に基づき株主等に対して通知をするために必要があるとき
- (2) 当会社が、法令等に基づき、株主等に関する情報を、公表または官公署もしくは金融商品取引所に提供するために必要があるとき
- (3) 当会社が、株主に対し、株主優待制度の実施その他振替株式の株主共通の利益のためにする行為をしようとするとき
- (4) 上場廃止、免許取消その他当会社または株主に損害をもたらす恐れがある事態が生じるのを避ける必要があるとき
- (5) 当会社の株式等にかかる公開買付けその他の大量取得行為またはこれらの提案(潜在的なものを含み、以下「大量取得行為等」という)に関し、株主に対する情報提供もしくは勧誘をしようとするとき、または、株主もしくはその株式保有状況について確認しようとするとき
- (6) 当会社の買収防衛策の導入、延長、変更、更新、発動、廃止等をするのに必要であるとき、または、当会社の買収防衛策に関し、株主に対する情報提供・勧誘もしくは株主意思の確認をしようとするとき
- (7) その他当会社が総株主通知の請求を行う必要があると合理的に判断したとき

第28条 (情報提供請求)

当会社は、以下の各号に定める場合には、振替法第277条に定める正当な理由があるときとして、証券会社等または機構に対して情報提供請求を行うことができ

る。

- (1) 株主等の同意があるとき
- (2) 株主と自称する者が株主であるかどうか確認するために必要があるとき
- (3) 株主が株主権の行使要件を満たしているかどうかを確認するために必要があるとき
- (4) 当社が、法令等に基づき株主等に関する情報を、公表または官公署もしくは金融商品取引所に提供するために必要があるとき
- (5) 上場廃止、免許取消その他当社または株主に損害をもたらす恐れがある事態が生じるのを避ける必要があるとき
- (6) 当社が、当社の株式等の大量取得行為等を行う者もしくはこれらを行う可能性がある者（これらの共同保有者および特別関係者を含む）の存在を認識し、またはかかる存在を合理的に推認し、当該者またはその株式保有状況について確認するために必要があるとき
- (7) 株主が、当社の株式等の保有につき、法令等に基づく義務を遵守していない可能性があるとき、または反社会的勢力に該当する可能性があるときに、当該株主またはその株式保有状況について確認するために必要があるとき
- (8) 株主として当社に対して請求等（違法または不当な要求を含む。以下本号において同じ）をする者（過去に請求等をした者および将来請求等をする可能性がある者を含む）の存在を認識し、またはかかる存在を合理的に推認し、当該者またはその株式保有状況について確認するために必要があるとき
- (9) その他当社が情報提供請求を行う必要があると合理的に判断したとき

以上

附則

第1条 本規則の制定および変更は、取締役会の決議による。

第2条 本規程の内容は2022年9月1日より効力が発生するものとする。

改訂 2010年1月6日

改訂 2022年1月17日

改訂 2022年9月1日